

# 生活単元学習 学習指導案

授業Ⅱ

あさひ子学級5組 7名 指導者 柳崎 鉄兵

本授業は、以下の検証を行うものである。

他者とつなぐために、考えを整理したり、教師がファシリテーターとしての役割を務めたりすることは、子供同士の対話を促し、「深い学び」を実現するための手立てとして有効であったか。

## 1 単元 校区探検をしよう

## 2 目標

身近な地域に出掛け、地域の人々と関わりをもち、様々な場所を調べたり、買い物したりすることで、自分たちの生活が地域によって支えられていることに気付くとともに、地域に親しみをもち、人々と適切に接したり、学習したことを生かして楽しく余暇を過ごしたりすることができるようにする。

## 3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身近な環境と自分たちの生活のつながりについて知ることができる。</li> <li>○ 校外でのルールやマナー、買い物の仕方を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽しい校区探検になるように、ルールやマナー、買い物の仕方を考え、行動している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校区探検に行くことを楽しみに事前の準備学習をしたり、当日は、施設の見学や買い物を楽しんだりしようとしている。</li> </ul>

## 4 単元について

### (1) 単元について

昨年度、子供たちは、3回の校外学習を経験している。その中で、バスで校区外の施設に行つて学習する楽しさや校外で昼食や買い物をし、学習する楽しさを感じることができた。この体験から、子供たちは、「もっといろいろな場所に行つてみたい。」「休みの日に学習したことを生かして、お出掛けしてみたい。」と校外で学習することのよさを感じ始めている。一方で、バスなどの公共交通機関が発達していることや自家用車で出かけることが多いために、身近な校区内にどのような公共施設や店舗があるのかについて、知らない子供も多い。

そこで、本単元では、実際に校区内を歩き、校区内の公共施設を見学したり、お店で買い物したりする活動を設定する。活動場所を身近な地域に設定することで、様々な人や場所との出会いをつくり、自分の生活との関わりを広げたり、深めたりすることができるようにする。また、店内において、欲しい物を自分で選び購入する買い物学習や、移動の際の安全のきまりや公共の施設を使うときのマナーを考える活動などを設定することで、他の単元で身に付けた力を繰り返し生かすことができるようにする。このような活動を通して、子供たちは教科等で学習した力を発揮したり、新たな課題を発見したりして、さらに学習を深めることができるものとする。また、実生活での実践へと広がりをもち、そのことが将来に向けて、自立し社会参加するための必要な力を培うことにつながっていくものとする。

### (2) 子供について

	A (2年)	B (2年)	C (2年)	D (2年)
	E (3年)	F (5年)		G (6年)
興味・関心 校区探検への	昨年度の写真を見ながら「楽しそう。」「僕も行きたい。」と言ひ、校区探検を楽しみしている。	自分の住んでいる家の周辺については知っているが、他の地区については知識がない。	知らない場所に行つてみたいという思いが強く、探検に対する関心が高い。	校外学習に行くことを告げると大喜びし、実施日を答えることができる。
や表現の方法 他者との関わり方	積極的に自分の思いを言葉で伝えようとする。質問の意味を分かんずらに答えることがある。	自分の思いを伝えることができる。質問に答えることはできるが、相手に質問をすることは難しい。	自分の思いを伝えることができるが、順序立てて話すことが難しいときがある。	自分の思いや考えを大勢の前で伝えることができる。順序立てて分かりやすく伝えようとする。
	自分の思いや考えはもっているが、大勢の前で自分の思いを伝えることが苦手である。	自分の思いや考えを伝えることはできるが、大勢の前ではうまく伝えることができないことがある。	大勢の前でも自分の思いや考えを伝えることができる。発音が明瞭でないために、相手に伝わらないことがある。	

(3) 指導について

本単元では、こうした子供たちの実態をふまえ、校区探検への興味・関心を高めるとともに、校区探検へ行く計画や準備を通して、主体的に活動を行うための学習を展開する。具体的には、自分や友達の家の周辺にあるものについて話し合い、校区内にも知らない場所があることに気付かせることで、本単元の学習することの必要感をもつことができるようにする。また、これまでの学習や日常生活で学んだことを活用し、施設を利用する際のきまりを確認したり、買い物学習などの準備をしたりする活動を展開する。校区探検の場面では、事前の学習を生かすことができるようにするために、つくし手帳を手掛かりにしながら、事前の学習を想起して、探検することができるようにする。探検後は自分でできたことを写真やVTRを使って振り返る活動を行い、できたことを大いに称賛し、日常生活で活用することができるようにする。

5 指導計画 (総時数 12 時間)

過程	主な学習活動	評価規準				時間
		A (2年)	B (2年)	C (2年)	D (2年)	
		E (3年)		F (5年)		
導入	1 「ここは、どこでしょう」 クイズをし、学習計画表を作成する。	クイズに楽しみながら参加し、校区探検に出掛けることに意欲をもつ。【態】	写真を見て、自分の知っている場所かどうか考えようとしている。【態】	クイズに楽しみながら参加し、校区探検に出掛けることに意欲をもつ。【態】	写真を見て、自分の知っている場所かどうか考えようとしている。【態】	1
		写真を見て、自分の知っている場所かどうか考えようとしている。【態】	写真を見て、これまでの学習を思い出し、意欲的に話そうとしている。【態】	校区探検に出掛けることやこれから学習することを、話そうとしている。【態】		
展開	2 校区探検をする計画を立てる。 ○ 日程、コース ○ 持っていくもの (本時) ○ 約束や決まり ○ 調べたいこと (インタビューの練習) ○ 買い物の練習	公共の場での過ごし方が分かる。【知】 店員に挨拶をすることができる。【知】 つくし手帳を使って、活動計画を立てることができる。【思】 楽しみながら準備や練習しようとしている。【態】	みんなと一緒に公共の場で過ごすことができる。【知】 教師が言葉掛けをすることで、買い物をするすることができる。【知】 つくし手帳を使って、活動計画を立てることができる。【思】 楽しみながら準備や練習しようとしている。【態】	公共の場での過ごし方が分かる。【知】 店員に挨拶をすることができる。【知】 つくし手帳を使って、活動計画を立てることができる。【思】 楽しみながら準備や練習しようとしている。【態】	みんなと一緒に公共の場で過ごすことができる。【知】 一人で買い物をすることができる。【知】 つくし手帳を使って、活動計画を立てることができる。【思】 活動に見通しをもち、準備や練習しようとしている。【態】	9
		3 校区探検をする。 ○ 公共施設 ○ お店	公共の場での過ごし方が分かる。【知】 教師が言葉掛けをすることで買い物をすることができる。【知】 つくし手帳を使って、活動計画を立てることができる。【思】 友達と協力しながら準備や練習しようとする。【態】	マナーを守り、公共の場で過ごすことができる。【知】 一人で買い物をすることができる。【知】 つくし手帳を使って、活動計画を立てることができる。【思】 本時の活動に見通しをもち、準備や練習しようとする。【態】	マナーを守り、公共の場で過ごすことができる。【知】 一人で買い物をすることができる。【知】 つくし手帳を使って、活動計画を立てることができる。【思】 準備や練習などを下級生に教えようとする。【態】	
終末	4 校区探検のまとめをする。 ○ 映像や写真で振り返る。 ○ 校区地図を作る。	楽しかったことや出来事を絵に表し発表することができる。【思】 楽しかったことや出来事を絵日記に表し、発表することができる。【思】	楽しかったことや出来事を友達の前で発表することができる。【思】 楽しかったことや出来事について、理由を付けて発表することができる。【思】	楽しかったことや出来事を絵に表し発表することができる。【思】 楽しかったことや出来事について、理由を付けて発表することができる。【思】	楽しかったことや出来事を友達の前で発表することができる。【思】 楽しかったことや出来事について、理由を付けて発表することができる。【思】	2

6 本時 (3 / 12)

(1) 目標

これまでの校外学習の様子を写真で振り返ったり、具体物を見たりしながら、校区探検に必要な物を考え、根拠に基づいて発表したり、選択したりすることができるようにする。

【思考・判断・表現】

(2) 評価規準

A (2年)	B (2年)	C (2年)	D (2年)
E (3年)		F (5年)	
G (6年)			
教師が用意した具体物を基に、準備する物を考え、選択することができる。	経験や写真を基に、準備する物を考え、発表することができる。	教師が用意した具体物を基に、準備する物を考え、選択することができる。	経験や写真を基に、準備する物を考え、理由を付けて発表することができる。
経験や写真を基に、準備する物を考え、選択することができる。	経験や写真を基に、準備する物を考え、理由を付けて発表することができる。	経験や写真を基に、準備する物を考え、理由を付けて発表することができる。	経験や写真を基に、準備する物を考え、理由を付けて発表することができる。

(3) 指導に当たって

「つかむ・見通す」過程では、前時までの学習を振り返り、校区探検で楽しみにしていることを想起することで、子供が本時の学習に意欲をもって取り組むことができるようにする。また、「すること」を短い言葉で伝えることで、子供が見通しをもって活動に参加することができるようにする。

「調べる」過程では、これまでの校外学習を想起したり、実態に応じて絵カードや写真を用いたりすることで、持っていく物について、自分の考えをもつことができるようにする。また、個で考えたことを子供同士で「見える図」を用いて整理し、発表し合うことで、準備する物について、自分の考えを再構築することができるようにする。

「まとめる・生かす」過程では、持っていく物をつくし手帳に書いたり、絵カードを貼ったりすることで、本時の学習を確認することができるようにする。また、チェックシートで、「のびるちゃんメーター」に丸印を書き自己評価をすることで、活動における自分の姿を振り返ることができるようにする。

(4) 本時の展開

[ ] 子供の意識

○ 指導の手立て

※ 評価規準

過程	時間	主な学習活動	指導の手立て
つかむ・見通す	10	<p>1 前時までの学習を振り返る。  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学習とつなぐ</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田上校区は、広いな。</li> <li>・ 6月に行くよ。</li> <li>・ 買い物楽しみだな。</li> </ul> <p>2 本時のめあてをつかむ。  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">こうたんけんにもっていくものがかんがえよう。</span></p> <p>3 本時で「すること」の確認をする。                      (1) 先生が準備した物を見る。                      (2) 持っていく物を書く。(選択)                      (3) 持っていく物と持っていない物に分ける                      (4) 発表する。</p>	<p>○ 前時までの学習を振り返り、校区探検で楽しみにしていることを想起することで、子供が本時の学習に意欲をもって取り組むことができるようにする。</p> <p>○ Google Earth や写真を見ることで、校区全体の広さや様子を確認することができるようにする。</p> <p>○ 「すること」を短い言葉で伝えることで、子供が見通しをもって活動に参加することができるようにする。</p>
調べる	25	<p>4 持っていく物を書く。  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">水筒が必要だね。 タオルがあったらいいな。 帽子をかぶっていこう。</span></p> <p>5 持っていく物と持っていない物を、「見える図」に表し、整理する。</p> <p>6 持っていく物の必要性を話し合う。  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">他者とつなぐ</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 途中でのどが乾くから、水筒が必要です。</li> <li>・ 暑いと汗をかくから、タオルが必要です。</li> <li>・ 外に行くから、帽子が必要です。</li> </ul>	<p>○ これまでの校外学習の様子の写真や絵カードを提示することで、持っていく物を考えることができるようにする。</p> <p>○ 「見える図」を用いて整理することで、持っていく物を明確にし、考えを発表することができるようにする。</p> <p>○ 子供が発表する際は、教師がファシリテーターとしての役割を務めることで、子供が対話活動を行うことができるようにする。</p> <p>※ 写真でこれまでの校外学習を振り返ったり、具体物を見たりしながら、校区探検に必要な物を考え、根拠に基づいて発表したり、選択したりすることができる。(発言、活動の様子等) 【思考・判断・表現】</p>
まとめる・生かす	10	<p>7 本時の学習を振り返り、次時の学習を確認する。  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分とつなぐ</span></p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">こうたんけんでもっていくものを じぶんで じゅんびしよう。</span></p>	<p>○ チェックシートで、「のびるちゃんメーター」に丸印を書き自己評価をすることで、活動における自分の姿を振り返ることができるようにする。</p>